

＜チェックシート＞				
基準		レベル1	レベル2	レベル3
指標				
ア	音符や記号の読み方を理解し、正しくすばやく楽譜を読む力	楽譜に書かれたト音記号、ヘ音記号の音符を、同時に読むことができる。	楽譜に書かれたト音記号、ヘ音記号の音符を、同時に読み演奏することができる。	楽譜に書かれたト音記号、ヘ音記号の音符を、同時に読み適切な速度で初見演奏をすることができる。
イ①	正確な運指法、適切なテンポ、強弱による音楽的な表現で、バイエルの必修曲を80番までとソナチネを1曲弾く力	バイエルの必修曲を80番までと、ソナチネ1曲を弾く事ができる。	バイエルの必修曲を80番までとソナチネ1曲を、正確な運指や適切なテンポで弾くことができる。	バイエルの必修曲を80番以上とソナチネ1曲を、採用試験で通用するレベルで演奏することができる。
イ②	本学作成のグレード16までの童謡を、伴奏を付けた明快な歌声による演奏表現力	本学作成のグレード16までの童謡を、簡単な伴奏で弾き歌いができる。	本学作成のグレード16までの童謡を、楽譜の伴奏を用いて明快な歌声で弾き歌いができる。	本学作成のグレード16以上の童謡を、楽譜の伴奏を用いてペダルを付け、明快な歌声で表現豊かに弾き歌いができる。
イ③	個々の力を合わせた舞台での合奏の発表力	担当した楽器を演奏することができる。	担当した楽器を、他の楽器とのバランスを考えながら、演奏することができる。	担当した楽器を、曲全体のバランスを考え、全体を聴きながら表情豊かに演奏することができる。
ウ	課題達成への計画性	与えられた曲を毎日練習することができる。	できないポイントを理解し効果的な練習ができる。	練習の目的・内容の理解を伴って計画的に練習ができる。
エ	協調して、指導法を考えることのできる力	協力して一つの曲を作り上げることができる。	楽器の演奏技術や知識を同じパートの人たちに伝え教えることができる。	楽器の演奏技術や知識をいろいろなパートの人たちに伝え教えることができる。
この科目を通して学んだこと、獲得できた力、できなかった課題等				